新時代への責任と決断

名取市議会議員

吉田 良の 名取市政ビジョン

第14号

2月定例会 討論

手倉田出張所移転改築へ

仙台空港運用時間延長

救う会宮城 街頭署名活動

1月　成人式などに出席しました。議員協議会において、新型コロナウイルスワクチン接種の実施、新一般廃棄物最終処分場建設候補予定地の決定、仙台空港運用時間延長（24時間化）について説明を受けました。後に地域振興策と騒音対策の要望が受け入れられ覚書締結に至りますが、県に対し仙台市地下鉄の延伸への協力を求める交渉の機会としなかったのは残念です。地域支え合い報告会、共生社会について考える講座に参加しました。

2月　議員協議会において、消防署手倉田出張所の移転改築、総合福祉センターの整備、仙台空港の運用時間延長（24時間化）の対応方針について説明を受けました。新しい出張所へ救急車を早期に配備し、跡地の利活用には地域住民の意見を反映させるよう、地元選出議員が連携して求めてまいりたいと思います。増田川の手倉田ふれあい橋・大手橋間2か所に、老朽化したベンチの撤去に伴って健康遊具設置が実現しました。残る1か所にも早期に設置されるよう要望を続けてまいります。

3月　東日本大震災名取市追悼式に参列しました。公民館を考えるつどいに参加しました。

なとり子ども食堂

名取駅西口バスシェルター設置

増田川健康遊具設置

増田神社 例大祭準備

4月　議員協議会において、新型コロナウイルスワクチン接種の実施について説明を受けました。

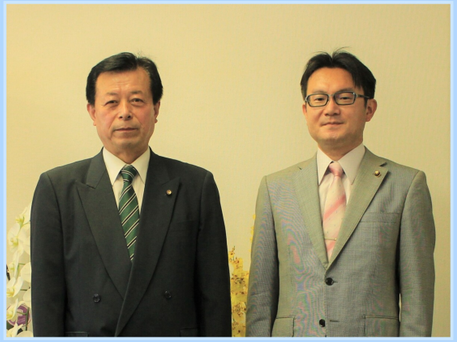
5月　八幡南町内会共同清掃・草刈りに参加しました。新型コロナウイルスワクチン集団接種会場を視察しました。議員協議会において、本郷小規模保育所改築工事について説明を受けました。

6月　旧中沢家住宅屋根葺き替え工事見学会、八幡南町内会花壇植栽・共同清掃、愛島公民館ふれ愛防災講座に参加しました。名取市観光物産協会社員総会に出席しました。名取駅西口に雨よけバスシェルターが完成しました。最初に提案してから約5年かかりました。便利で親しまれる空間になるよう、今後も環境整備を求めてまいります。

ほかにキラキラパルク増田西、二つの名取を結ぶ会オンライン交流、なとり子ども食堂（原則毎月第3金曜日、感染拡大防止対策としてテイクアウトで実施）などの活動に参加しました。

ともに考えよう、仙台名取合併構想

第9回ゲスト
東松島市議会議員（2期）
櫻井政文 氏



吉田 良

仙台生まれ。仙台南高等学校、東京音楽大学卒業。名取市立みどり台中学校、常盤木学園高校など県内の中・高等学校に勤務。平成26年まで学習塾経営。
現在、名取市議会議員（2期）、総務消防常任委員会委員、名取市民合唱祭実行委員会顧問、混声合唱団せせらぎ指揮者、郷土史研究会会員など。

5月20日(木)　10:00

(吉田)東松島市には市民協働のまちづくりについて視察に伺ったことがあります。

(櫻井氏)地区自治会制度の導入により、区長業務を地区の住民へ再分担しました。
各自治組織の代表が市の総合計画策定に加わるなど、行政が住民に近くなりました。

矢本町と鳴瀬町の合併が、市が進む方向の議論を始めるきっかけになったそうですね。
2町が合併したのは平成17年ですが、市民生活に大きな影響はありませんでしたか。

合併協議会で10年ほどかけて議論してきたので、大きな弊害はありませんでした。
合併特例債で小学校などを整備したほか、市民協働が進むという効果がありました。
その後道州制へ移行することが期待されましたが、近頃は議論が停滞しています。

昨年の第32次地方制度調査会答申にも盛り込まれませんでした。

道州制に移行することによって地方創生が進むのではないかと考えられます。
明治時代から続く中央集権体制を考え直すための議論を止めてはならないと思います。

仙台市と名取市との合併議論は、道州制の議論と同時に進めるべきだと考えます。

規模は異なりますが、東松島市も石巻市に隣接するベッドタウンの性格を持っています。
日赤のような大きい病院は石巻市にあり、東松島市のデマンドタクシーでは通えません。
医療、交通、教育の面でメリットがあれば、合併への市民の理解は深まると思います。

仙台市内の病院を利用する名取市民も多く、交通利便性を高めることが課題です。
また名取市民が仙台市立保育所を利用できないという現状も、合併で解消されます。

教育面では石巻圏域の小中から仙台市立の中高へ進学する生徒が増えています。
仙台市立学校との学力格差が広がっていることが理由だと考えられます。

東松島市と名取市は沿岸部にあることも共通していますが、
被災地域などでどのような活性化策が進められていますか。

居住が制限される区域には、パークゴルフ場を含む海浜公園を整備しました。
奥松島の景観やマリンスポーツなどを観光資源とし、民宿や食で誘客を図ります。

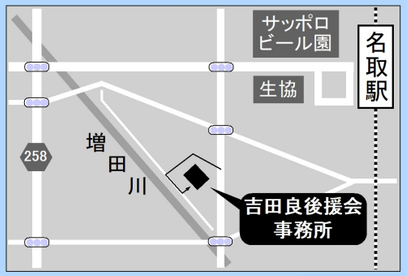
地域おこし協力隊から人材を定住に結びつけている成果もすばらしいと思います。
運河があるという両市の共通点を生かした連携の在り方を模索していきましょう。

名取から、地方分権と道州制移行の加速化を！

吉田良後援会は会員を募集しています

◎ 事務所　〒981-1231 名取市手倉田字八幡165-32西
◎ TEL　090-3368-1771　FAX　022-774-1771
◎ ツイッター・ライン　@ryoyoshida1771
◎ ホームページ　http://www13.plala.or.jp/ryokoenkai

後援会入会申し込みはQRから▸



令和3年7月1日　発行　討議資料